

第4学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日 時	平成30年10月10日(水)	【公開授業Ⅱ】
児 童	4年1組 男10名 女 9名	計19名
	4年2組 男 9名 女10名	計19名
指導者	T1山田秀勝 T2鈴木 優	T3 藤原千寿
場 所	アセンブルルーム	

1 単元名

「人に優しい町を作り隊」～交流しよう～

2 教師の願い

「障害者白書」によれば、日本国民の総数から考えると約35人に1人が身体に障がいをもっている計算になる。主な原因は、病気や事故、遺伝であり、障がいは誰もが抱える可能性がある。また、ある資料によれば、17年後には、二子町住民の約3分の1が高齢者になると推測されている。だからこそ、体の不自由な方も安心して生活していける地域の創造を考えることは急務であり、自分事として意識させ生活させていくことは重要なことであると考えます。

そこで、まず、自分たちの町が、体に不自由さを抱える方にとって住みやすい場所になっているのかを考えさせたい。その上で、自分達の住んでいる地域には様々な人々が暮らしていることへの理解を深めさせていきたい。二子町にある障がいをもつ方の自立支援施設の方と一緒に作業をしたり、障がいをもった方にインタビューをしたりする活動を通して、障がいをもった方と協働する機会を意図的に設ける。その中で、個々や学級全体の課題を設定し、情報を収集、整理・分析する力を身に付けさせながら、障がいをもちながらも充実感をもち精一杯生活している人達がいることに気付かせていく。そして、そのような方々と共に支え合いながらよりよく生きていこうとする心情を育みながら、実践する態度を育てていきたいと考える。

3 児童について

児童は、3年生の総合的な学習の時間の中で、湧き水を見に行ったり地域の伝統文化を直に体験したりするなどして、自分たちが住む地域のよさについて見付け出している。また、課題に添って情報を集め、それらの情報を比較・分類などして整理し、冊子や模造紙等にまとめ、学年の中で交流するなど、探究的な学習の経験もしてきている。

4年生となり、第1小単元では、キャップハンディ体験を通して、高齢者や障がいをもつ方の不安や大変さ、介助の仕方等を学んだり、施設の訪問では、体に不自由さを抱える方への各施設の対応と努力を学んだりした。そのことを通して、「二子地区は、体の不自由な方へ優しい町ではないか」と感じ始めている。また、自分達子どもにできることは、設備の準備ではなく、見かけたときに声を掛け手伝えることがあれば行うことだとも考え始めている。一方で、実際に会ったときに高齢者の方には比較的声を掛けやすいが、障がいをもつ方と関わる機会がほとんど無いため、障がいをもつ方には声を掛けられないと感じている児童が多い。児童は、第1単元で学んだことを実生活に活かすためにも障がいをもつ方と触れ合う必要性を感じてきている。

4 題材について

二子地区には、交流センターをはじめ、幾つかの公共施設があり、様々な人達が利用している。そのため、バリアフリーの設備も整えられている所が多い。また、地区内には、「とばせ園」「あけぼの」「アビリティセンター」という障がいをもつ方が働く就労支援施設が3か所ある。身近に在りながらこれらの施設があることを知っている児童は少なく、どういう方が入所しているのかもよく理解していない。そのため、地域の中で出会ってもどのように接すればよいのか困ることも見受けられる。そういった環境の中で、地域に住む様々な人々への理解を深める学習をすることは、児童がこれから地域の中で共生しよりよく生きていこうという心情を育てていくために有効な題材だといえる。

5 単元の目標

二子町に住む様々な人への理解を深める活動を通して、体に不自由さをもった方とも支え合いながら生きていこうとする意識がもてるとともに、自分にできることは何かを考え実践しようとする。

6 単元構想

※「単元の構想図」を参照

7 本小単元について

(1) 本小単元の目標

交流を通して互いを知り、障がいをもった方とも、支え合いよりよく生きていこうと考えることができる。

(2) 本小単元で身に付けさせたい資質・能力

技能・知識	<ul style="list-style-type: none"> 障がいをもちながらも、技術や技能をもっていることに気付く① 障がいがある方も自分たちと同じように一生懸命に生きていることに気付く。② 様々な人達と関わり合うことの必要性に気付く。③
思考力・判断力・表現力等	<p><課題設定></p> <ul style="list-style-type: none"> 障がいをもつ方との交流につながる課題を立てる。④ 課題解決のための活動計画を立てる。⑤
	<p><情報の収集></p> <ul style="list-style-type: none"> 課題解決に必要な情報を見学や体験，インタビューから収集する。⑥ 質問内容を考える。⑦
	<p><整理・分析></p> <ul style="list-style-type: none"> 収集した情報を比較し，項目を立てて分類する。⑧ 収集した情報を共有し合い，分析し共通点を見付ける。⑨
	<p><まとめ・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 伝える目的や内容に合わせて効果的な方法を選択する。⑩ グループで整理した内容を，選択した表現方法でわかりやすくまとめる。⑪ 選択した表現方法で分かりやすく発表する。⑫
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを整理したり，まとめたり，発表したりすることに自主的に取り組もうとする。⑬ 調べたこと整理したり，まとめたり，発表したりすることに進んで協力して取り組もうとする。⑭ 障がいをもった方に進んで関わろうとする。⑮ グループの活動で積極的に意見交流しようとする。⑯

(3) 本小単元の指導計画（40時間）

過程	○主たる活動 ・具体例 (時数) 番号は資質・能力	評価規準 (評価方法)
課題の設定 (4)	<p>○小単元1で学習したことを実践する際に，課題となる点を考える。(2)④</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分達に現実としてできそうなことを振り返る。 実践する際の課題点を検討して探究課題とし，小単元2のテーマを認識する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><全体テーマ2> 人に優しい町を作り隊～交流しよう～</p> </div> <p>○交流のための活動計画を立てる。(2)⑤</p>	<p>【課題を設定する力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小単元1で学習したことを基に，課題を設定する。(発言) 自分達が設定した課題について，解決の見通しがもてる計画を立てる。(学習シート)
情報収集 (7)	<p>○アビリティセンターを見学する。(2)⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設を見学し，所の方に説明を聞く。 <p>○アビリティセンターの方と一緒に作業する。(2)⑥⑯</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとに障がいのある方と一緒に作業する。 <p>○インタビューの内容を考える(1)⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとに，作業に関わった障がいをもつ方を，より知るための質問内容を考える。 <p>○アビリティセンターを訪問し，インタビュー等をする。(2)①⑥⑯</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとに，作業に関わった障がいをもつ方へインタビューをする。 	<p>【情報を収集する力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 見学したり，体験したりしたことをメモや感想などとして収集する。(学習シート) インタビューしたことをメモにまとめる。 <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 協力しながら課題を解決しようとする。 障がいのある方に，自分から進んで質問等をしようとする。(観察，発言，振り返りシート)
整理・分析 (7) 本時 6/7	<p>○見学や体験，インタビューした情報を個人で整理する。(3)⑧</p> <ul style="list-style-type: none"> メモを付箋に書き出し分類する。 <p>○個人で蓄積した情報をグループで整理・分析する。(3)⑨【本時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人で整理した情報をグループや全体で合わせ共通点や相違点を分析する。 <p>○伝えたい内容と伝える相手を決める。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝える目的を確認し，伝えるべき相手を考える。 	<p>【整理・分析する力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集した情報を思考ツールを使って分類し整理する。(学習シート) 各障がいをもつ方についての共通点を見付ける。(学習シート)

まとめ・表現 (22)	○グループごとに、伝えるための効果的な表現方法を選択する。(1) ⑩ ○グループごとに伝えたい内容をまとめ発表準備をする。(10) ⑪⑬⑭⑯ ・自分達で決めた表現方法に必要な要素を考え、伝えたい内容と結び付ける。 ・まとめ作業、発表準備をする。 ・発表練習をする。	【まとめ・表現する力】 ・自分たちが伝えたい内容に合わせた効果的な表現方法を考える。(発言, 学習シート) ・伝えたい内容に合わせ、どのような準備が必要か、視点をもとにまとめる。(学習シート)
	○発表会へ向けての準備をする。(7) ⑬⑭⑯ ・計画を立てる。 ・必要な物を準備する。 ・会場の準備をする。	【学びに向かう力・人間性】 ・協力しながら作業を進めようとしている。(学習シート)
	○発表会をする。(2) ⑬⑭⑯	【まとめ・表現する力】 ・相手を意識して、説明する内容を考え、発表する。
	○発表会をする。(2) ⑬⑭⑯	【学びに向かう力・人間性】 ・協力しながら作業を進めようとしている。(発言, 言動)
	○単元を振り返る。(2) ①②③ ・発表イベントの成果と課題点を振り返る。 ・障がい者の方との距離が近くなったかを振り返る。 ・二子町に住む自分は、体の不自由な方と関わり合いながら、よさを生かそうとすることについて振り返る。	【知識・技能】 ・地域の中には、様々な人達が暮らしていて、その人々が自分達と同じようによりよく生きようとしていることに気付き、互いに関わり合うための手立てを見付けることができる。(振り返りシート)
		【学びに向かう力・人間性】 ・学習を振り返り、障がいをもつ方への理解を深め、自分が選んだ手立てで関わろうとしている。(振り返りシート)

8 本時の指導

(1) 本時の目標

アビリティセンターで働いている障がい者の方にインタビューをして知ったことを全体で出し合い、共通点等をまとめ分析することができる。

(2) 本時の展開

段階	学習内容と活動	教師の支援・評価【資質・能力】
導入 5分	1 前時までの学習を振り返る。	・T1が問題把握や全体指導を行い、T2とT3は支援が必要な児童のサポートにあたる。
	2 本時の課題を確認する。	
	インタビューをして分かったことを整理・分析し、共通点や多いことを見つけよう。	

展開 30分	3 返答の内容を整理する。 ・各グループで聞いてきた返答を短冊に書き、質問ごとに分けて黒板にはる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 内容(2) 思考の手立ての工夫 グループでインタビューしてきた内容を短冊に書き、黒板にはり出すことで全体の考えを比べやすくする。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・考えやすくするために、思考する場面を質問の内容ごとに区切りながら、グループで話し合うようにする。 ・T1, T2, T3は、各担当グループの話し合いの支援にあたる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 評価【⑨】 各グループから出されたインタビューの内容を比較し、その共通点や傾向を読み取る。(発言, 学習シート) </div>
	4 返答の内容から分かることを分析する。 ・黒板にはられた返答の内容を見比べ、質問ごとに区切りながら共通点や多い点等をグループごとに見付け出し、発表していく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・何でも助けてほしいわけではないんだな。 ・やりがいをもって仕事をしている人が多いんだな。 ・たくさん話したいと思っている人が多いんだな。等 </div>	
	5 自分たちの考え方や行動の仕方と、障がい者の方の返答内容を比べて、共通点や相違点を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・僕たちと同じで、無視されるのは嫌なんだな。 ・私たちよりも、ちゃんとした目的をもって活動しているんだな。等 </div>	
終末 10分	6 本時の活動を振り返る ・振り返りカードに記入する。 7 次時の見通しをもつ	・T1は、振り返りの指示や次時の予告をする。T2とT3は、全体に広げたい内容を書いている児童を見付け、振り返りの発表者を指名する。

(3) 評価規準

資質・能力	ねらいを達成している児童	努力を要する児童への支援	評価方法
⑨	○インタビューしてきた内容を見比べながら、障がいを抱える人の考えや思いの共通点や傾向を読み取っている。	○教師がグループの分析活動に入りながら、どの内容を比べるとよいのかを助言するなどして考えやすくする。	○学習シート ○発言
事例 子で達 例のい成 具るし	○障がいがあるからといって、何でも助けてほしいと思っているわけではないんだな。 ○仕事が好きで、誰かの役に立ちたいと思っているから、真剣に仕事に取り組んでいる人が多いんだな。		